

しち てん はっ き 七 転 八 起

校訓：自主・協同・創造

学校通信 NO. 14
令和5年 1月 6日

1年間、締めくくりの3学期！

～「心温まる言葉」で安心できる学校に～

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の始まりであると同時に、3学期は、1年間の締めくくりの始まりでもあります。新たな年を迎えるにあたり自分で決めた目標があると思います。その目標に一步でも近づけるように、「自分のできる精一杯の努力」をして、しっかりと歩んでほしいと願っています。



1年生は2月にスキー実習があります。集団生活を通して友だちの良さを発見し、絆を深めるとともに、自分の役割を果たしながら協力していくことの大切さを学んでください。2年生は三木東中学校のリーダーとして、3年生が居る間にしっかりと引き継いでください。3年生は中学校生活の締めくくりです。友だちと過ごす時間を大切にしながら、授業に集中し、メリハリのある学校生活を送ってください。

私は、人の将来は心の持ち方で変わっていくと思っています。山下智茂さんは、石川県の星稜高校野球部を全国屈指の名門校に育てあげた監督で、松井秀喜をはじめ小松辰雄や村松有人、山本省吾など多くのプロ野球選手を輩出しました。山下監督は「心が変われば行動が変わる」「行動が変われば習慣が変わる」「習慣が変われば人格が変わる」「人格が変われば運命が変わる」と言われました。心を変えていくことは、とても重要だと思います。そこで、気持ち次第で誰にでもできる「あいさつをする」「しっかりと掃除する」「時間を守る」を意識してみましょう。

また、身近な相手のことを意識して、感謝の気持ちを伝えるようにしましょう。家族や友人など、普段から当たり前のようにそばにいて、支えてくれている相手には、そのありがたみが気づきにくくなり「ありがとう」という感謝の言葉も出にくくなります。しかし、何事も「おかげさまで、ありがたい」という気持ちを思い起こし、身近な人たちに向けて素直に感謝のメッセージを伝えるように心がけてみましょう。お互いの心が温かく穏やかな気持ちになりますよ。

校長 高森 伸彦